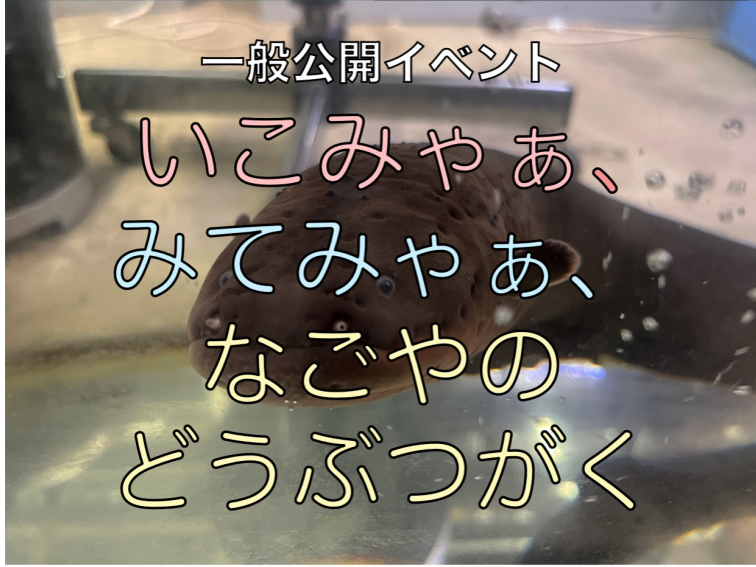




動物たち、歴史、未来の科学者たち——
さまざまな「いのち」に出会える一日です！
ご家族やご友人とぜひ遊びにきてください！



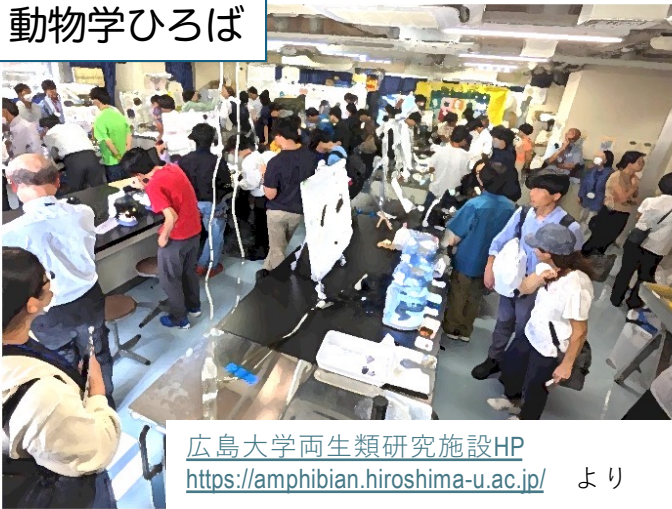
一般公開イベント
いこみやあ、
みてみやあ、
なごやの
どうぶつがく

日本動物学会 3 日目

2025.9.6.(土) 10時～

入場無料 (一般公開エリアのみ)

動物学ひろば



広島大学両生類研究施設HP
<https://amphibian.hiroshima-u.ac.jp/> より

動物学ひろば

普段なかなか見ることのできない、さまざまな動物たちが大集合！研究者たちが、動物の魅力をやさしく紹介します。

歴史資料展示

名古屋大学所蔵の江戸～明治時代の美しい動物図譜（複製）を特別公開！伊藤圭介『錦窠図譜』、奈良坂源一郎『蟲魚図譜』など、貴重な資料を大会実行委員会が厳選してご紹介します。

生物クラフト作家による作品展示・販売

生き物たちをモチーフにした、かわいくて繊細なクラフト作品も登場！お土産にもぴったりです。

高校生ポスター発表

未来の科学者たちによる、フレッシュな研究発表もお楽しみに！

▶ 詳細はこちら：

<https://www.zoology.or.jp/annual-meeting/2/events/>



歴史資料展示

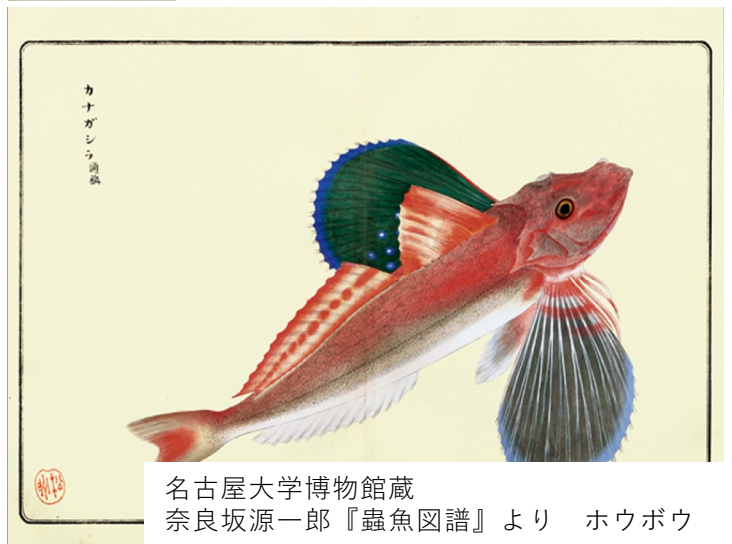


名古屋大学図書館蔵
伊藤圭介『錦窠図譜』より カナガシラ

高校生ポスター発表



池田学園HP <https://ikedagakuen.ed.jp/archives/6852> より



名古屋大学博物館蔵
奈良坂源一郎『蟲魚図譜』より ホウボウ

公益社団法人日本動物学会第96回名古屋大会 一般公開講演会

日本独自の動物学研究を俯瞰する 尾張本草学から現代動物学へ

動物の研究は、どのように始まり、今のカタチになったのでしょうか？

江戸時代の本草学から始まり、近代の学問体系へ、そして今日の研究へ
——名古屋・尾張地方はその歩みを色濃く映し出す地域のひとつです。

本講演会では3名の講師が動物学の歴史や知られざる人物たちのお話を
わかりやすく紹介します。

1：戦前日本の動物学における「性」認識

丘浅次郎、石川千代松から戦後における山本時男の「性的人為的転換」へ
斎藤光（京都精華大学）

2：尾張本草学の展開—動物図譜から実験発生学へ

溝口元（立正大学/学習院大学アーカイブズ/動物学会歴史資料保存委員会委員）

3：名古屋地区で発展した動物学の研究—山本時男以降

田中実（名古屋大学）

歴史に興味がある人、動物が好きな人、研究ってどんなことするの？
と気になっている人、大歓迎です！

どなたでも無料でご参加いただけます

**関連する動物図譜の展示や動物学ひろば、
生物クラフト作家展示販売なども同時開催！**

2025年9月6日（土）14:30~16:30

ポートメッセなごや交流センター3F
A会場（きんしゃち）

お問合せ

田中実（大会実行委員長・名古屋大理学研究科）
mtanaka@bio.nagoya-u.ac.jp

